

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	クオリスキッズくがはら保育園
施設所在地	大田区東嶺町28-4

1. 活動のテーマ

<テーマ>

「数字・図形」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
土地柄、いろいろな形の建物やモニュメントが多くあり、散歩時に「あれって〇〇みたい!」、「あの建物の〇〇に似てる!」という子供たちが日々興味関心をもつ姿を見て今回このテーマを設定いたしました。また、子どもたちが数に対し興味関心を持ち、自分たちで文章を読みながら考えることができるようになっており数についてもあわせて活動をしたいと考えました。
子どもたち同士は日々の生活の中で繰り返し話し合いを行っており、意見を共有し合ったり、考えを伝え合うことに少しずつ楽しさを感じている。

2. 活動スケジュール

週に1回以上、幼児クラスが実施
13時以降の時間で30分～40分ほど数に関するワークを毎日継続的に行っていた。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
・「かず」(学研の幼児ワーク)・ブロック・ライトテーブル・三種類の四角形(形の違うもの)を貼った画用紙・比較用の三角形の画用紙・IQパズル
・話し合いがしやすいよう、4から5人のグループを作り、座って活動を行う。

4. 探究活動の実践

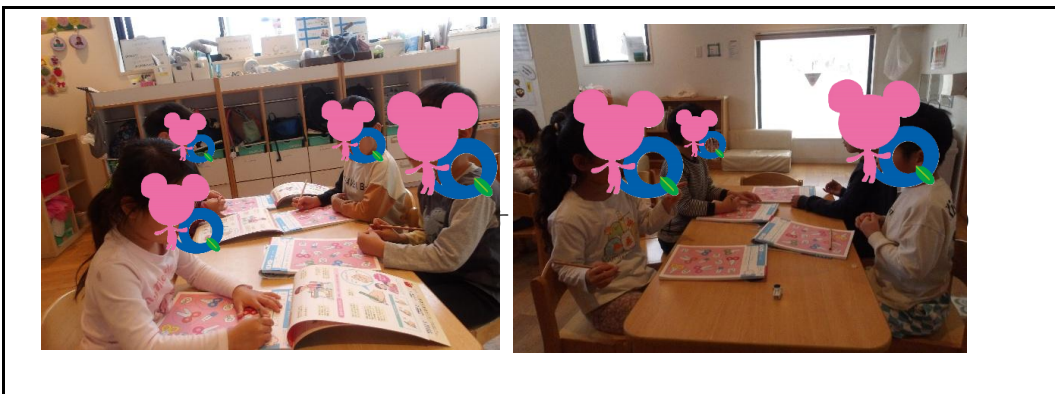
<活動の内容>

- ・四角形の大きさを比較する方法を各グループごとに考え、話し合いを行う。
- ・各グループごとの気づきをその都度他グループにも共有し、子どもたちの発想や、考えが広がるようにしていく。
- ・それぞれのグループで考えたことや大きさの比較の方法を発表し合い、全体での共有をしていく。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

- ・初めは感覚的にとらえ、大きさの比較をしている子が多かったが、三角形を使うことで、視覚的に形を合わせ、数を数えながら形の大小を比較することができていた。
- ・最初、三角形の画用紙を渡したときに試行錯誤をし、三角形を並べることを繰り返していたが、そのうちぴったりと重なることに気づき、形に合わせて並べ、数を数えていくことで、大きさを比較できることに気づく姿が見られた。
- ・子どもたち同士で気づきがあると他グループにも声を掛けに行き、やり方を伝えたり、他グループのやり方を確認したりしていた。
- ・三角形を並べる際に四角形を作って数を数えるグループと、三角形をそのまま数えて比較しようとするグループがあった。
- ・全体的に集中して取り組み、数を指で数えたり、数を書いたりする姿が見られた。
- ・分からないところは手を挙げて保育者に聞いたり、友だち同士で教え合ったりしながら理解を深めようとしていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

- ・保育士が答えを伝えるのではなく、子どもたちの考えを尊重し、話し合いを主体にすることで、子どもたち自身が自分たちで考え、様々な気づきを得ることができていた。
- ・子どもたちの中で何度も試行錯誤することで気付ける部分が多くあった。
- ・子どもたちが主体となって考え、話し合いや発表を行うことで集中して活動に取り組むことができていた。
- ・考え方は同じでも、そこに至るまでの過程が異なることもあり、それぞれの発想を認めていく事が大切だと気付いた。